

報告事項 1：令和2年度事業報告の件

令和2年度事業報告 要 旨

事業年度活動テーマ 『 Willpower 』（ウイルパワー）

～ 意志あるところに道はひらける ～

はじめに

令和2年度は、世界中が新型コロナウイルスの影響を受け、わが国でも2度の緊急事態宣言が発令され、誰もが予想だにできなかった社会・経済の様相へと一変してしまいました。この影響は、令和元年度そして、本年度へと続き、JAIFAの公益事業活動はもとより、各会員にも大きな影響を及ぼした。

昨年、理事長から発信したメッセージでは「新型コロナウイルスは、申し上げるまでもなく老若男女問わず、感染することは生命を失うリスクと隣り合わせで、社会システムを脅かすものとなりました。生命保険の仕事に携わる私たちにとって、この経験は、いろいろと考えさせられる機会にもなりました。これから生命保険の仕事に携わるうえで、大切な生命をどのように守っていくかということ、私たちには仕事を通じて国民の皆様を広めていく役割と使命があります。JAIFAの活動を通じてその役割を共に考え、そして実行していくことが大切です。」との言葉と共に、私たちは、様々な経験を活かそうと協会全体の役割を考えつつ互いに鼓舞してきた。これはまさに事業活動テーマ「Willpower」（ウイルパワー）「意志あるところに道はひらける」をモットーにしてきたところの展開につながった。限られた中で、いかに公益事業を展開するか視点と共に、令和2年度の特記する点は下記の通りである。

◆時代IT化の進行に伴い、委員会事業を未来へ向けた改革のもとに設置した「IT公益推進委員会」を主体に、ホームページの全面リニューアルを行い「本部及び各協会主催のセミナー」「広報誌プレゼント」「学習帖」等、知識向上と会員と一般消費者を結ぶ高度な活動発信ツールとして構築した。

◆年次統一セミナー、地方協会セミナー

新型コロナウイルスの影響により静岡年次統一セミナーはやむなく中止・延期としたが、令和3年5月に予定する広島年次統一セミナーは、コロナ禍の中で対策講じた企画をもって開催すべく鋭意努力している。また、各地方協会では、Webを活用したセミナー開催を積極的に推進し事業を止めないように取り組んでいる。

◆会員増強

新型コロナウイルスの影響はブロック、各地方協会そして本部を含めて事業活動が軒並み中止に追い込まれ、退職者の増加が会員減少の要因にもなり16年連続増加を果たすことは叶わなかったが、底堅い会員組織から最小限の約1%の減少にとどめることが出来た。

◆愛のドリーム募金「1月31日生命保険の日“全国一斉贈呈式”」の実施

昨年に続き、全国54地方協会が一斉に挙行了しました。

◆東日本大震災10周年に伴う被災者へのお見舞いと特別寄付の実施

震災及び原発事故から10年を迎えた。当初から様々な活動を展開してきたが、この節目に被災地、被災者の皆様へ心よりお見舞いを申し上げる。また、全会員の総意からの基金「ハートフルファンデーション」

ン」により、委員会決定のもと、東北3県の「震災孤児基金」に寄付を行った。
公益社団法人は、人を基本に公益的役割を担い社会に貢献する活動を行うことが目的です。
来期は、役員交代年にあたり、多くの新役員が任務に就きます。

「信頼を築くのは一生。信頼が壊れるのは一瞬」役員、会員一人ひとりが公益社団法人の一員として、引き続き公益法人会員のプライドとコンプライアンスを重視し、常に原点に立返り各種活動に臨むことを確認していく方針である。

令和2年度の公益社団法人として事業詳細は下記の通りを行ってきたことを報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- （1）消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- （2）地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- （3）消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- （4）その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次統一セミナーは、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るといふ、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険

の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2020年度「静岡大会」コロナの影響で中止・延期）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、来場者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて （教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

J A I F Aは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

①公益法人団体が実施する行事への参加（人力的支援）

公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 全国各地の主催行事へ参加

②広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」10年継続
公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 19年継続

■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会奉仕活動事業は、J A I F Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、J A I F A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、25年間で5億6,149万2,328円、福祉巡回車愛のドリーム号は458台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援に関わる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。

「かけがえのない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の3点について継続的に実施しており、令和3年度でも実施予定である。

①未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及と共に未使用のテレフォンカードを手元に保管している人は少なくない。これ

を収集しボランティア支援に活かしている。このほか切手・はがき等の支援も増えてきた。

②メガネの回収

メガネ使用者やコンタクトレンズに変えられた方などから、使用しなくなった「メガネ」を回収している。これは、目が悪くてもメガネを買うことのできない途上国を支援するボランティア団体へ送り、役立てて頂いている。

③タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。一般企業から協力も頂いている。

更に「愛のドリーム募金」の拡充と活動の周知をはかるため、令和元年度より、毎年、生命保険の日（1月31日）に併せて「愛のドリーム募金」贈呈式を全国地方協会にて一斉に挙げていく活動を取り入れた。この活動は恒久事業として毎年継続していく。

上記に加え、コロナ禍のマスク需要により未使用マスクの収集を追加した。その他、ペットボトルキャップ等、地球環境の保護にも配慮した事業も今後さらに拡大させる予定である。

■突発的大災害への支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

平成24年の設立からの5年間は、ハートフルファンデーションがどのように活かされて行くのか、活動の礎にもなるよう「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた。この実績から、「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて、継続して支援をしていくことで、子どもたちが安心して治療に専念できるようJAIFらしい支援をしていくことを決定した。よって、平成29年度から継続して支援している下記3団体へ、令和2年度の支援先についても合計500万円の支援をさせていただいた。

継続支援実績（平成29年度に継続）

①「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体で、全国に約100名のクラウン(道化師)が活動しており、小児病棟に入院している子どもたちを、日本全国94の病院を定期訪問している。病院への定期訪問の他、被災地での活動への支援させていただいた。

②「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」（200万円）

病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に11施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。

③「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン」（200万円）

命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。

また、全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただくことができた。

○「令和2年7月豪雨」への支援

令和2年7月に熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨被害への支援として、ハートフルファンデーション委員会は災害直後から、被災地域である地方協会のハートフル・コーディネーター及び地方協会長と連携をとり、災害対策本部並びに社会福祉協議会と被災

状況を確認しつつ、被災地で緊急に必要なとされている、マスク、下着、靴下、日用品、ゴミ袋、排水ポンプ、業務用サーキュレーター、飲料水等約50万円を支援させていただいた。

○「台風19号」への追加支援

令和元年10月に発生した「台風19号」被害への追加支援として、群馬県社会福祉協議会と連携のうで公立高校へ「ジェットヒーター」約10万円の支援要請があり支援させていただいた。

このような万一の大災害時に、「JAIFAらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約2,000万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられたことに間違いはない。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に応じていく。突発的災害は発生してほしくないが公的機関の支援とは異なる視点で、被災地が必要とされている物資支援や要望に対して、スピーディに支援させていただくことができた。

更に、東日本大震災への支援はJAIFAとして継続的支援を行うこととしており、東日本大震災より10年を迎える節目として、①震災孤児、震災遺児に対する「県庁が主催する基金」②NPO日本ホスピタル・クラウン協会「小さなテントサーカス」最終公演へ合計950万円の支援をさせていただいた。

① 震災孤児、震災遺児に対する「県庁が主催する基金」への支援

震災にて両親を亡くした震災孤児、両親のいずれかを亡くした震災遺児が、安定した生活を送ることが出来るよう、未就学児から大学院生までに支援金を給付するために東北3県に設けられた「県庁が主催する基金」へ震災孤児・震災遺児の人数に比し、「東日本みやぎ子ども育英基金」(500万円)、「いわての学び希望基金」250万円、「福島県東日本大震災子ども支援基金」100万円の合計850万円寄贈した。

② NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会「小さなテントサーカス」最終公演への支援

NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会が東日本大震災への支援として、「小さなテントサーカス」を開催してきた。3月12日～14日に開催する4カ所9公演が最終公演となるため、必要経費の100万円を支援させていただいた。

ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2021年3月31日

前年度末繰越金		72,748,609	
収入		支出	
①年会費からの収入	19,490,500	①突発的災害支援	577,148
令和2年度会費38,897名[@500]	19,448,500	令和2年7月豪雨への支援	468,358
令和2年度以前の会費84名[@500]	42,000	台風19号被害への追加支援	108,790
②寄付金等	1,500,000	②未来ある子どもたちへの継続支援	5,000,000
一般社団法人生命保険協会[R2年度]		NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会	1,000,000
③バッジ販売	10,000	公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス	2,000,000
ファンデーションバッジ[@10,000]		公益財団法人 メイク・ア・ウイッシュ オブ ジャパン	2,000,000
		③東日本大震災への支援	9,500,000
		東日本大震災みやぎ子ども育英基金	5,000,000
		いわての学び希望基金	2,500,000
		福島県東日本大地震子ども支援基金	1,000,000
		被災地テントサーカス支援	1,000,000
		④NPO法人 3.11甲状腺がん子ども基金	300,000
		⑤バッジ制作費	22,000
		⑥振込手数料・残高証明書発行代	2,186
合計	21,000,500	合計	15,401,334
		年度末残高	78,347,775

■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

J A I F Aが連携する海外協会であるN A I F A（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）との交流をはかり、生命保険に関係する研究を重ねると共に、やがて、J A I F Aが諸外国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し、会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

令和2年度はコロナ禍の影響もあり16年連続の会員増員を達成することはできなかった。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成16年	27,998名		
17年	29,019名	1,021名	3.6%
18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.2%
20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%
22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.4%
28年	36,449名	1,559名	4.3%
29年	38,476名	2,027名	5.3%
30年	38,876名	400名	1.2%
令和元年	39,334名	458名	1.2%
2年	38,897名	▲437名	▲1.2%

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員としている。生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対してもJ A I F Aの事業活動を広報しつつ入会促進している。生命保険会社に所属する会社に比して代理店は来店窓口型も多く、一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生命保険への理解を深めいただけるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。

今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にしていたくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、JAIFAの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「Facebook」「QRコード」などを活用し、このほかDVDやパンフレットなどのツールを活用していく。

●2020年4月号

- ・新企画 特集 第1回 東京五輪・パラリンピックの新競技 身体能力と戦略が物をいう「スポーツクライミング」
- ・新連載 第1回 2020年に変わること 改正健康増進法
- ・第60回 ゼロから学ぶ税金講座 2020年の所得税は減税か増税か(後編)
- ・第208回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「七歳の私へ」
- ・第37回 社会保険Q&A 物価連動か賃金連動か
- ・第97回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～意識で信頼度を上げる～
- ・第107回 心のかけはし 門前払いでもチャンスはある。常にお客様の第一に。交わした約束は真摯に、どんなに ささいなことでも守る
- ・第109回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 5年延びるとどう違う? iDeCoの加入年齢引き上げ案
- ・第28回 想いをつなぐ 未来ある子どもたちに向けた想いを共有していく
- ・2020年JAIFA年次大会 in 静岡 [緊急告知] 5月29日の大会を中止し、延期とします。

●2020年5月号

- ・特集 第2回 東京五輪・パラリンピックの新競技 なんととっても「格好よさ」が魅力の「スケートボード」
- ・第2回 2020年に変わること パートタイム・有期雇用労働法
- ・第61回 ゼロから学ぶ税金講座 相続税それとも贈与税?(前編)
- ・第209回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「身近な場所の幸福」
- ・第38回 社会保険Q&A 雇用保険は何歳まで?
- ・第98回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～別れ際を心に響かせる～
- ・第191回 お客様からの感謝の声 生命保険のおかげで胃がん治療に専念。夫と息子、家族3人で過ごす時間を大切にしています
- ・第110回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 4月からスタートした大学等の無償化制度とは?
- ・第29回 想いをつなぐ 地域と連携した社会貢献活動を実施しています!
- ・第28回 JAIFA VOICE JAIFAでしかできない社会貢献活動の輪を広げたい
- ・ハートフルファンデーション報告/2020年度会費納入について

●2020年6月号

- ・特集 第3回 東京五輪・パラリンピックの新競技 “波乗りの芸術”を楽しむ「サーフィン」
- ・第3回 2020年に変わること「国民の祝日」の名称と日程
- ・第62回 ゼロから学ぶ税金講座 相続税それとも贈与税?(後編)
- ・第210回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「金庫の中身」
- ・第39回 社会保険Q&A 75歳からの公的医療保険

- ・第99回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵人になるヒント】～落ち込み気味の気持ちを回復する方法～
- ・第108回 心のかげはし 究極のプラス思考で工夫と努力を重ねる自分の人生を豊かに彩るたくさんの出会いに感謝
- ・第111回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 4月から民法改正で敷金のルールが変更
- ・第30回 想いをつなぐ「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019とまこまい」に参加しました
- ・第29回 JAIFA VOICE 公益組織会員として、誇り高い居場所となるJAIFAでありたい

●2020年7月号

- ・特集 第4回 東京五輪・パラリンピックの新競技 困難があっても限界に挑む!「ボッチャ」「ゴールボール」
- ・第4回 2020年に変わる事 大学入試制度
- ・第30回 JAIFA VOICE JAIFA会員一人ひとりが永続的に社会貢献できるよう邁進します!
- ・第112回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 日本の保有資産が2割しか増えていない理由
- ・第211回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生きる希望、生きる力」
- ・第40回 社会保険Q&A 年金を増やす最も確実な方法
- ・第100回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵人になるヒント】～自分の素敵ポイントを言語化する～
- ・第192回 お客様からの感謝の声 7年前に肺がんで天国に旅立った夫。途方に暮れた私も、時間をかけて自立できました。
- ・第63回 ゼロから学ぶ税金講座 相続税それとも贈与税?(続編)
- ・第31回 想いをつなぐ「未来ある子どもたちへの支援」が私たちのテーマです!

●2020年8月号

- ・新企画 特集 第1回 ニッポンの伝統文化 ビジネスマンの教養?歌舞伎を観に行こう!
- ・第5回 2020年に変わる事 個人情報保護法
- ・第64回 ゼロから学ぶ税金講座 孫に厳しい相続税
- ・第212回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「想いの形」
- ・第41回 社会保険Q&A 長く働いても増えない自営業者の年金
- ・第101回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵人になるヒント】～人との上手な距離のとり方～
- ・第109回 心のかげはし 情報を制する者は生命保険営業を制す信頼される営業職員を目指し研鑽に努めるのみです
- ・第113回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 「75歳繰下げ受給」で年金額はどうなる?
- ・第32回 想いをつなぐ 熊本県社会福祉協議会へ愛のドリーム募金を贈呈
- ・第31回 JAIFA VOICE 介護福祉施設の清掃ボランティアで良い汗を流しました!
- ・インフォメーション 新型コロナウイルス需要喚起事業GoToキャンペーンを活用する!?

●2020年9月号

- ・特集 第2回 ニッポンの伝統文化 笑いの芸術「狂言」まるわかり入門

- ・新連載 第1回 身近なサイエンス 陶磁器
- ・第65回 ゼロから学ぶ税金講座103万円の壁は変わらないが……
- ・第213回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「万が一は起こるもの」
- ・第42回 社会保険Q&A 遺族年金が支給されないケース（1）
- ・第102回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～心を軽くする考え方～
- ・第193回 お客様からの感謝の声 49歳で余命半年と告知。定年まで勤め上げ、『奇跡的』にすい臓がんと17年間 共存しています
- ・第114回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ チケット代を寄附して受けられる税制優遇
- ・第33回 想いをつなぐ 児童養護施設で子どもたちを支援するお手伝いをしました
- ・第32回 JAIFA VOICE With コロナ時代の変化に対応しできることを!

●2020年10月号

- ・第74回 「生命保険の月」に寄せて
- ・JAIFA第50回定時総会報告
- ・第66回 ゼロから学ぶ税金講座 酒税のトリビア(前編)
- ・第214回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「将来と保険」
- ・第43回 社会保険Q&A 遺族年金が支給されないケース（2）
- ・第103回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～マスク越しのコミュニケーション～
- ・第110回 心のかけはし 当たり前のことを当たり前のように『この日に絶対に会える人』が信頼を置いてもらえるのです
- ・第115回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 自宅療養するならぜひ使いたい「セルフメディケーション税制」
- ・第34回 想いをつなぐ 愛のドリーム募金創設25周年“1月31日生命保険の日” 全国一斉贈呈式を開催!
- ・第33回 JAIFA VOICE 生命保険を通じて社会貢献をしていきたい

●2020年11月号

- ・特集 第3回 ニッポンの伝統文化 語りのエンターテインメント 寄席で落語を聞いてみよう!
- ・第2回 身近なサイエンス セルロースナノファイバー
- ・第67回 ゼロから学ぶ税金講座 酒税のトリビア (後編)
- ・第215回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「家族に起きた悲劇と奇跡」
- ・第44回 社会保険Q&A パートタイマーの社会保険
- ・第104回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～目だけで笑顔を伝える～
- ・第194回 お客様からの感謝の声 肝臓がん診断と同時に余命3ヵ月の宣告。次男の分まで家族で孫達の成長を見守ります
- ・第116回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 指数を使って物価の高い国・安い国を判断してみよう
- ・第35回 想いをつなぐ オンラインを使って新たな取り組みを企画中です!
- ・第34回 JAIFA VOICE コロナ禍での活動は制限されていても無力ではないはず!日々の活動にアンテナを!!

●2020年12月号

- ・特集 第4回 ニッポンの伝統文化日本が誇る名城 楽しみ方ガイド
- ・第3回 身近なサイエンス インクを使わないフルカラー印刷
- ・第68回 ゼロから学ぶ税金講座 コロナ関連給付金等と税金
- ・第216回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「未来のために」
- ・第45回 社会保険Q&A 介護保険はなぜ40歳から?
- ・第105回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～リモートワークの心の整理術～
- ・人類と感染症
- ・第117回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 紙より便利に!ウェブ通帳のすすめ
- ・第36回 想いをつなぐ 輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うために
- ・第35回 JAIFA VOICE JAIFAの私たちにできることが必ずあると信じて!

●2021年1月号

- ・新春対談 Willpower～意志あるところに道はひらける～大地 真央さん(女優) 石井 清司
(JAIFA第12代理事長)
- ・生命保険各社社長より 新年のご挨拶
- ・第217回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生命保険の大切さを知った日」
- ・第4回 身近なサイエンス 合成宝石
- ・第69回 ゼロから学ぶ税金講座 電子申告で控除額10万円アップ
- ・第46回 社会保険Q&A イクメンと育児休業その他
- ・第4回 ニッポンの伝統文化 日本が誇る名城 楽しみ方ガイド
- ・第106回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～オンラインコミュニケーションを学ぼう～
- ・第195回 お客様からの感謝の声 36歳で難病になった夫。生命保険のおかげでこれからの長期療養費の準備ができ、安心しました
- ・第118回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 使わないクレジットカードに要注意
- ・第36回 JAIFA VOICE コロナ禍の今こそ一致団結して頑張っていきたい!
- ・第13回 全国会長会議開催報告

●2021年2月号

- ・特集 第5回 ニッポンの伝統文化 毎日食べたい「発酵食品」その驚きのパワーとは!?
- ・第5回 身近なサイエンス 漂白剤
- ・第70回 ゼロから学ぶ税金講座 簡単にできる「医療費控除」
- ・第218回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「運転席からの眺め」
- ・第47回 社会保険Q&A マイナンバーカードと健康保険証
- ・第107回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になるヒント】～画面越しのコミュニケーション～
- ・第111回 心のかけはし 人との面談を大切にしてきた今までから新しい営業様式への転換でアプローチを広げる
- ・お役立ち情報 安心・便利に活用しよう!マイナンバーカードを持つメリット
- ・第119回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 宝くじの当せん金に税金がかかるケースとは?

●2021年3月号

- ・特集 第6回 ニッポンの伝統文化「日本酒」を知って、もっと楽しもう！
- ・第6回 身近なサイエンス リチウムイオン電池
- ・第71回 ゼロから学ぶ税金講座 続く相続ブーム
- ・第219回 ありがとう生命保険 中学生作文コンクール入賞作品より「見えない杖」
- ・第48回 社会保険Q&A 「70歳リタイア」時代と社会保険(前編)
- ・第108回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵なお人になるヒント】好感度が上がる画面の作り方
- ・第196回 お客様からの感謝の声 生命保険と個人年金保険に加入して約30年。老後の備えまで準備でき、長年続けてきてよかったです
- ・「令和3年度 税制改正大綱」の概要
- ・第120回 思わず伝えたい！お金にまつわるエトセトラ ポイント・マイルは相続できる？

1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして33回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①堀井 計（ホロスグループ 代表）
『奇跡を起こすガンとの向き合い方～ステージ4が教えてくれた180日～』
- ②西澤 秀樹（SONPOビジネスソリューションズ社顧問、NLP・アドバンス代表）
『夢を叶える「脳のトリセツ」』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①幸田 啓子（チャレンジド・サポート新宿 代表）
『ダウン症の娘と歩く20年から見えてきたもの』
- ②佐藤 政樹（元劇団四季）
『夢に向かって！～感動を創造する言葉の伝え方～』
- ③原 千晶（女優、婦人科ガン経験者の会、よつばの会 主宰）
『大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①井上 健哉（ファイナンシャルプランナー、経営コンサルタント）
『つかみの極み～その話、誰かに言いたくなりますか～』
- ②上甲 晃（志ネットワーク『青年塾』 代表、松下政経塾 元塾頭）
『松下幸之助に学んだ人生で大事なこと』
- ③尾崎 里美（自称お笑いセラピスト）
『イメージトレーニングで運氣アップ』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①藤原 和博（教育改革実践家、元リクルート社フェロー）
『コロナを転機に！たった一度の人生を変える勉強をしよう』
- ②大野 佳子（社会保険労務士法人上田事務所 代表社員副所長、特定社会保険労務士）
『「社会保障制度」～社会保険労務士の実務と社会保障制度の現状～』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①須田 慎一郎（経済ジャーナリスト）
『日本経済の展望と金融情勢』
- ②古市 憲寿（社会学者、作家）
『日本の未来 待ち受ける本当の変化』
- ③尾河 眞樹（元シティバンク銀行 投資調査企画部長）
『「かわせ」を知ろう』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

- | | |
|---------------|---|
| 令和2年 9月28日（月） | オンライン開催 |
| バカボン鬼塚 | 『～オンライン商談のお悩み解消！～「ラジオ人が語る言葉の伝え方」』 |
| 高橋 茉奈 | |
| 令和2年10月28日（水） | オンライン開催 |
| 吉田 ヒロ | 『相手の心をつかみ、離さないコミュニケーション術～コロナ禍で対面でのアプローチがより難しくなったとお悩みの方へ～』 |
| 鈴木 つかさ | |
| 令和2年11月25日（水） | オンライン開催 |
| 中村 信仁 | 『営業から永業へ～営業に、売る技術は存在するが、心が技術を越えない限り、決して技術は生かされない～』 |
| 令和2年12月22日（火） | オンライン開催 |
| 森本 稀哲 | 『「信念をつらぬく覚悟」～どんな逆境にも負けない心を強くする法～』 |
| 令和3年 1月26日（火） | オンライン開催 |
| 黒川 伊保子 | 『「だから伝わらないんです！」～男女脳の可笑しくも哀しいすれ違い～』 |
| 令和3年 2月19日（金） | オンライン開催 |
| 青木 毅 | 『お客様に喜ばれながら、成果があがる「質問型営業」とは？』 |
| 令和3年 3月23日（火） | オンライン開催 |
| 山口 真由 | 『超簡単！今日から使える仕事のトリセツ』 |

<関東甲信越ブロック>

- | | |
|---------------|----------|
| 令和2年12月18日（金） | オンライン開催 |
| 大畑 大介 | 『為せば成る！』 |

<東海北陸ブロック>

- | | |
|---------------|---------|
| 令和3年 2月17日（水） | オンライン開催 |
| 高田 明 | 『伝える力』 |

<近畿ブロック>

- | | |
|---------------|---------|
| 令和2年10月19日（月） | オンライン開催 |
| 山田 章仁 | |
| 流 大 | |

中村 亮士 『ONE TEAM 強さの理由と成長の軌跡』

<九州ブロック>

令和2年12月12日(土) オンライン開催

菊池 桃子 『すべての人々が参加する社会〜いつも前を向いて〜』

2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「Present」では、裏表紙に、生命保険の日（1月31日）に併せて全国一斉に「愛のドリーム募金」贈呈式を挙行した活動を掲載した。令和3年3月31日現在までの総累計金額は、5億6,149万2,328円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

下記団体が取り組む諸行事活動に、お手伝いをさせていただいている気持ちをもって、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

☆ガンに立ち向かう人々のために（公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ）

命のリレー・ウォークでは、がんに立ち向かう日々の思いや体験を語り合い、24時間歩きながら寄付を募るイベントです。患者さん（サバイバー）たちと共に歩くことで、がんに向う勇気や生きる感動を共有します。

☆知的発達障害のある人々のために（公益社団法人スペシャルオリンピックス日本）

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供している。スポーツを通じ社会参加を応援するために全国各地で開催される競技会等での支援をしています。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した台風や地震などの突発的自然災害により被害を受けた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

- ・令和2年 8月27日(木) アンダーライティング学院第46期生卒業式典に林理事が出席した。
- ・令和2年10月29日(木) アンダーライティング学院会計監査に佐藤理事が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

恒例となる米国NAIFA年次大会は、2020年10月2日からボストンで開催されることが決まっていたがコロナ感染拡大を受けて中止となった。

NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客さまや一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事であり、その活動には国境がありません。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要である。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引き続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

令和3年度税制改正に関する要望項目について

令和2年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、11月4日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

◎人生100年時代を迎え、少子高齢化の急速な進展や働き方・ライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに応じて、現行制度を拡充すること―所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

- 公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、厚生年金基金制度等）および確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること
- 確定給付企業年金制度における過去勤務債務等に対する事業主掛金等について、早期の年金財政の健全化に資する柔軟な取扱いを可能とすること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の脱退一時金（中途引出し）について支給要件を緩和すること
- 定給付企業年金制度における退職時の脱退一時金（中途引出し）の在り方の検討にあたって、現行のとおり中途引出しを認めること

○定給付企業年金制度・確定拠出年金制度等を合算した拠出限度額の設定について、確定給付企業年金制度はその対象としないことを含めて慎重に検討すること

II. 生命保険契約関係

○遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

- ・令和2年 7月15日（水）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に事務局が出席した。
- ・令和2年 9月25日（金）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に事務局が出席した。
- ・令和2年10月 5日（月）「宏池会と語る会」に事務局が出席した。
- ・令和2年11月 4日（水）自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」若山副理事長と事務局が出席した。
- ・令和2年12月10日（木）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に事務局が出席した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

毎年1月にJAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会を開催しているが、今年度はコロナ禍のため開催を見送った。

4. 管理部門

組織の現状

令和2年度末の会員数は38,897名となった。前年令和元年度末会員数39,334名と比較すると437名の減少となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は17協会であった。地方協会別会員数は、別表（51～53ページ添付）資料の通りである。

会員増加17協会

苫小牧・青森県・岩手県・秋田県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・千葉県・神奈川県・愛知県・京都府・大阪・広島・福山・北九州・沖縄県

諸会議の開催

① 理事会

第1回 令和2年 6月30日（火）午後2時～午後3時 JAIFA本部会議室【テレビ会議】

議 題 I. 決議事項 第1号議案 令和元年度事業報告承認の件 第2号議案 令和元年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項：第1号議案 令和元年度決算承認の件 報告事項：1. 令和元年度事業報告の件 2. 令和2年度事業計画報告の件 3. 令和2年度予算報告の件 第4号議案 規程改定の件 第5号議案 支部（地方協会）運営規程細則改定の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長・専務理事 2. 内部監査について 3. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 4. 年次統一セミナー開催中止・延期につい

て 5. その他

第2回 令和2年 9月 4日(金) 午後2時～午後3時15分 JAIFA本部会議室【テレビ会議】

議 題 I. 決議事項 1. 令和2年度事業推進について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. その他
税制改正要望について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

第3回 令和2年10月30日(金) 午後1時～午後2時15分 明治安田生命広島支社 7階会議室【テレビ会議併用】

議 題 I. 決議事項 1. 令和2年度事業推進について 2. 令和3年度事業計画骨子について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

第4回 令和3年 1月22日(金) 午後1時半～午後3時半 JAIFA本部会議室【テレビ会議】

議 題I. 決議事項 1. 令和2年度事業推進について 2. 令和3年度事業計画骨子について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 令和3年度予算案について 4. 役員選出について 5. 地方協会長の承認と任命について 6. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 7. その他
II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

第5回 令和3年 3月 5日(金) 午後1時半～午後2時半 JAIFA本部会議室【テレビ会議】

議 題I. 決議事項 1. 令和2年度事業推進について 2. 令和3年度事業計画骨子について IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 役員選出について 4. 地方協会長承認の件 5. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 6. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

② 委員会

IT公益推進委員会 推進部会

第1回【ホームページリニューアル等打合せ】令和2年12月 7日(月) 午後1時～午後4時半
JAIFA本部会議室【テレビ会議】

議 事 1. ホームページリニューアルについて 2. その他

第2回【ホームページリニューアル等打合せ】令和2年12月21日(月) 午後1時～午後3時
JAIFA本部会議室

議 事 1. ホームページリニューアルについて 2. その他

第3回【ホームページリニューアル等打合せ】令和3年 1月19日(火) 午前10時半～正午

J A I F A本部会議室【テレビ会議】

議 事 1. ホームページリニューアルについて 2. その他

I T公益推進委員会 教育部会

第1回【教育部会・編集会議】令和2年 8月31日(月)午後2時～午後2時半 J A I F A本部
会議室【テレビ会議】

議 事 1. 令和2年度事業進捗について 2. 令和3年度事業計画案(骨子)について
3. 令和2年度広報誌『Present』の制作について 4. その他
1. 教育事業プロジェクト 2. その他

編集会議 午後2時半～午後4時

議 事 1. 令和2年度『Present』の編集内容について 2. 令和3年度広報誌
『Present』の編集方針について 3. その他

第2回【教育部会・編集会議】令和2年11月13日(金)午後2時～午後2時半 J A I F A本部
会議室【テレビ会議】

議 事 1. 令和2年度事業進捗について 2. 令和3年度事業計画(案)について 3. 令
和3年度広報誌『Present』の制作について 4. その他

編集会議 午後2時半～午後4時

議 題 1. 令和3年度広報誌『Present』編集方針について 2. その他

I T公益推進委員会 広報部会

第1回 令和2年10月 6日(火)午後2時～午後3時 J A I F A本部会議室【テレビ会議】

議 事 1. 令和2年度事業推進状況について 2. 令和3年度事業計画案(骨子)につい
て 3. その他

第2回 令和3年 3月 5日(金)午前11時～午後12時 J A I F A本部会議室【テレビ会
議】

議 事 1. 令和2年度事業推進状況について 2. その他

企画運営委員会

第1回 令和2年 6月19日(金)午後2時～午後2時45分 J A I F A本部会議室【テレビ
会議併用】

議 事 1. 2021 J A I F A年次大会について 2. その他

第2回 令和2年10月 2日(金)午後12時～午後7時半 プルデンシャル生命広島第2支社会
議室

議 事 1. 2021 J A I F A年次大会実行委員会及び決起大会について 2. その他

第3回 令和2年12月11日(金)午後1時～午後6時 プルデンシャル生命広島第2支社会議室

議 事 1. 2021 J A I F A年次大会について 2. その他

第4回 令和3年 2月 5日(金)午後 1時～午後6時 大昌工芸株式会社 会議室

議 事 1. 2021 J A I F A年次大会について 2. その他

第5回 令和3年 3月19日(金)午後12時～午後2時 JMSアステールプラザ 会議室

議 事 1. 2021 J A I F A年次大会について 2. その他

第6回 令和3年 3月26日(金)午後12時～午後6時 国際会議場フェニックスホール会議室

議 事 1. 2021 J A I F A年次大会について 2. その他

第7回 令和3年 3月26日(金) 午後1時分～午後3時40分 JAIF A本部会議室【テレビ会議併用】

議 事 1. 2021JAIF A年次大会について 2. その他

【2021JAIF A年次大会実行委員会】

第1回 令和2年 7月21日(火) 午後1時～午後5時 明治安田生命 広島支社 会議室

議 事 1. 2021JAIF A年次大会について 2. その他

第2回 令和2年10月29日(水) 午後1時～午後5時 明治安田生命 広島支社 会議室

議 事 1. 2021年JAIF A年次大会について 2. その他

第3回 令和3年 3月19日(金) 午後2時半～午後6時 JMSアステールプラザ 会議室

議 事 1. 2021年JAIF A年次大会について 2. その他

社会貢献委員会

第1回 令和2年 8月21日(金) 午後2時～午後3時 JAIF A本部会議室【テレビ会議】

議 事 1. 社会貢献顕彰について 2. 令和2年度事業進捗について 3. 令和3年度事業計画(骨子)について 3. 社会貢献顕彰について 4. その他

会員増強委員会

第1回 令和2年 9月25日(金) 午後1時～午後3時 JAIF A本部会議室【テレビ会議】

議 事 1. 令和2年度事業推進と進捗状況について ・会費納入状況について ・会員増強について 会員数40,000名へ向けて 2. 令和3年度事業計画(骨子)について 3. その他

③全国会長会議

第1回 令和2年10月30日(金) 午後2時半～午後4時半 全国会長会議【テレビ会議併用】
午後4時半～午後5時半 広島年次大会会場視察

議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と令和3年度事業計画骨子 IT公益推進委員会 教育部会、IT公益推進委員会 広報部会、IT公益推進委員会 IT推進部会、企画運営委員会、社会貢献委員会、会員増強委員会、公益総務委員会、ハートフルファンデーション委員会 ②社会貢献顕彰表彰 ③JAIF Aホームページリニューアルについて ④JAIF Aの組織の現況等について 事例報告 北海道ブロックセミナー開催報告 札幌協会林田智光会長、本部事務局、内部監査室 ⑤ブロック長報告 ⑥その他

④ブロック長会議

第1回 令和3年 2月10日(金) 午後1時～午後3時 JAIF A本部会議室【テレビ会議】

議 題 1. 会員増強について ・会費納入について ・口座振替について 2. 事務連絡 ・会計書類の提出について ・役員改選について 3. その他

⑤ブロック会議

<北海道ブロック>

令和2年12月 1日(火) JAIF A本部会議室【テレビ会議】

<東北ブロック>

令和2年11月30日(月) JAIF A本部会議室【テレビ会議】

令和3年 2月15日(月) 【テレビ会議】

令和3年 3月 5日(金) 【テレビ会議】

<関東甲信越ブロック>

令和2年11月18日(水) 【テレビ会議】

令和2年12月 2日(水) JAIFA本部会議室 【テレビ会議】

令和3年 3月17日(水) 【テレビ会議】

<首都圏ブロック>

令和2年12月 9日(水) JAIFA本部会議室 【テレビ会議】

令和3年 1月22日(金) 【テレビ会議】

<東海北陸ブロック>

令和2年11月30日(月) JAIFA本部会議室 【テレビ会議】

<近畿ブロック>

令和2年11月27日(金) JAIFA本部会議室 【テレビ会議】

<中国ブロック>

令和2年11月30日(月) JAIFA本部会議室 【テレビ会議】

<四国ブロック>

令和2年11月30日(月) JAIFA本部会議室 【テレビ会議】

令和3年 3月26日(金) コンレス

<九州ブロック>

令和2年12月 3日(木) JAIFA本部会議室 【テレビ会議】

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

令和2年度は、「規程順守」「雇用実態」の各項目での内部監査を実施した。

- 内部監査
- 1 地方協会の規程順守調査
 - 2 地方協会の雇用実態調査
 - 3 地方協会の内部監査

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる令和2年度末の専従職員数は、事務局長以下6名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟(いずれも社団法人のみ)、第三者訴訟(社団法人、財団法人共通)により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。